

宮城県立精神医療センターの建替について

1 概 要

地方独立行政法人宮城県立病院機構が運営する宮城県立精神医療センターは、県内における精神医療の基幹病院として、精神科救急等の政策的医療の実施、早期介入・再発防止等のモデル的医療の提供等を行っている。精神医療センターの施設の老朽化、狭隘化が著しいことから、がんセンター西側山林を建替の候補地として、県立病院機構において用地交渉等を進めてきたところであるが、地権者の同意を得ることが困難と判断し、建替の候補地を変更することとなったもの。

これまでの建替計画の概要

- ・本館（外来・入院・管理部門）及び体育館棟等の分棟形式
- ・精神科救急等の政策医療の拡大や児童・思春期等のモデル的医療への対応強化
病床数：220床（全室個室化）
内 訳 スーパー救急病床 96床
 総合治療病床 94床
 児童思春期病床 30床
- ・移転候補地：宮城県名取市愛島塩手字野田山 宮城県立がんセンター西側山林

2 経 緯

- H18年度 ・院内に「宮城県立精神医療センター将来構想委員会」設置
- H22年度 ・外部有識者による「宮城県立精神医療センターあり方検討懇話会」設置
- H24年度 ・法人理事会において「建設候補地をがんセンター周辺とする」旨を決定
 ・県議会保健福祉委員会において「建設候補地をがんセンター周辺とする」旨を報告
- H24～
26年度 ・住民説明会を計3回開催
- H25年度 ・法人理事会において「がんセンター西側山林」を候補地に決定
 ・県議会保健福祉委員会において「がんセンター西側山林を候補地に決定した」旨を報告
- H28. 8 ・地権者との用地交渉が不調に至る
- H28. 9 ・法人理事会において「がんセンター西側山林を断念し、新たな候補地を検討する」旨を決定

3 宮城県立病院機構から県に対する報告

- ① 地権者との用地交渉が不調となったことから、がんセンター西側山林への建設を断念し、新たな候補地を検討していく。
- ② 早期の建替に向けて、候補地選定の条件を整理し、スケジュール等についても併せて検討していく。

4 県の対応

今後の宮城県立病院機構による候補地の検討結果等を踏まえながら、精神医療センターの建替に向けて、必要な支援に努める。